



2025 年 9 月 17 日

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

(お知らせ) ダイナミックマッププラットフォーム、「日経・東証 IR フェア 2025」出展

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、2025 年 9 月 26 日(金)、27 日(土)に東京ビッグサイト西 3・4 ホールで開催される「第 20 回 日経・東証 IR フェア 2025」に出展します。なお、当社は 2025 年 3 月に東京証券取引所グロース市場(証券コード: 336A)へ新規上場しており、今回のような個人投資家向けイベントへの出展は当社として初の取り組みです。

上場企業と個人投資家の対話の場

日経・東証 IR フェア 2025
9/26日(金)・27日(土) 東京ビッグサイト西3・4ホール



当社は「新規上場企業エリア」にブースを構え、当社の事業、成長戦略、財務情報などについて展示・説明いたします。また同エリアでは共同セミナーを予定しており、当社は 9/26(金)14:30 の回に執行役員 コーポレート統括の山田 浩司が、9/27(土)11:30 の回に代表取締役社長 CEO の吉村 修一が登壇する予定です。セミナー参加者には当社オリジナルのノベルティの配布も予定しております。

<当社出展概要>

- 当社ブース 西 4 ホール 新規上場企業エリア S-2
- 出展内容
 - ✓当社の事業、成長戦略、財務情報などの展示・説明
 - ✓「新規上場企業エリア」共同セミナーへの登壇
 - ・ 9/26(金)14:30 執行役員 コーポレート統括 山田 浩司
 - ・ 9/27(土)11:30 代表取締役社長 CEO 吉村 修一

出展社一覧ページ: <https://seminar.nikkei.co.jp/irfair/exhibitorlist/>

<「第 20 回 日経・東証 IR フェア 2025」概要>

- 会期 2025 年 9 月 26 日(金)、27 日(土) 10:00~17:00
- 会場 東京ビッグサイト 西 3・4 ホール(東京都江東区有明 3-11-1)
- 入場 無料(要登録)
- 主催 日本経済新聞社、日本取引所グループ

公式サイト: <https://seminar.nikkei.co.jp/irfair/>

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を持ち、26ヶ国で事業を展開しています。現実の世界をデジタル空間に複製する高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを支えています。

設立: 2016年6月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

URL: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

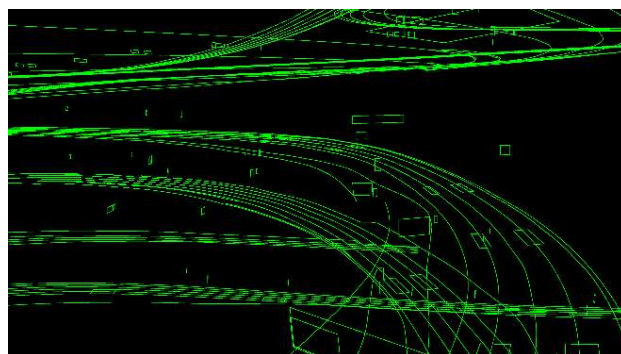
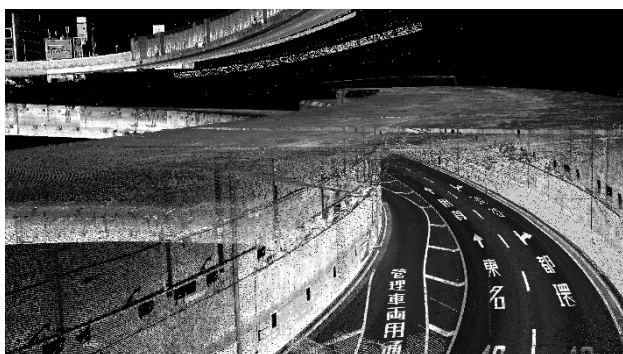
【参考資料】

<当社製品・サービス概要>

■ 高精度 3 次元データ(高精度 3 次元点群データ・高精度 3 次元地図データ)

高精度 3 次元点群データとは、「モービルマッピングシステム※1」により、全国的高速道路/自動車専用道路と主要幹線道路を計測し、その膨大な計測データをひとつに繋ぎ合わせた点群データです。点の 1 つ 1 つが緯度・経度・高さの 3 次元座標情報を持っています。

高精度 3 次元地図データは、この高精度 3 次元点群データから車の自動運転に必要な実在地物※2 と仮想地物※3 の情報を抽出し、生成したものです。車の自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理等、幅広い産業での利用が可能です。



(左)高精度 3 次元点群データ (右)高精度 3 次元地図データ(HD マップ)

※1 モービルマッピングシステム(MMS: Mobile Mapping System): GPS、カメラ、レーザスキャナ、IMU(Inertial Measurement Unit)などの計測機器によって道路や周辺の構造物を 3 次元計測できる車両搭載型測量システムのこと

※2 実在地物: 停止線や道路標識など現実世界に存在する目視可能な要素

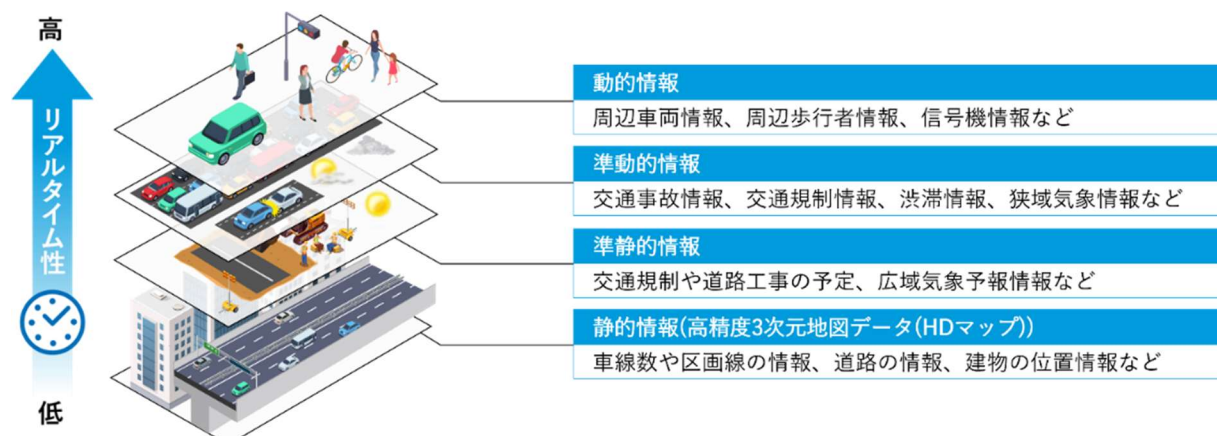
※3 仮想地物: 車線中心線など現実世界に存在しない仮想の要素

■ 安心・安全な自動運転の実現に寄与するデジタルインフラ「ダイナミックマップ」

ダイナミックマップとは、情報のリアルタイム性ごとに 4 階層に分類された情報を持つ地図データベースの概念です。当社は前述の高精度 3 次元地図データを車線情報、路面情報など高精度な位置情報を持つ“静的情報”の基盤として提供するとともに、準動的～動的なダイナミックマップ情報を収集・配信する自動運転向けデータ連携システムの構築に取り組んでいます。本システムにより道路の状況を事前に自動運転車両に配信することで、交通事故を防ぎ、安心・安全な自動運転の実現に寄与します。本システムについては、2025 年 2 月に新東名高速道路にて自動運転トラックを用いた実証実験も実施しています。

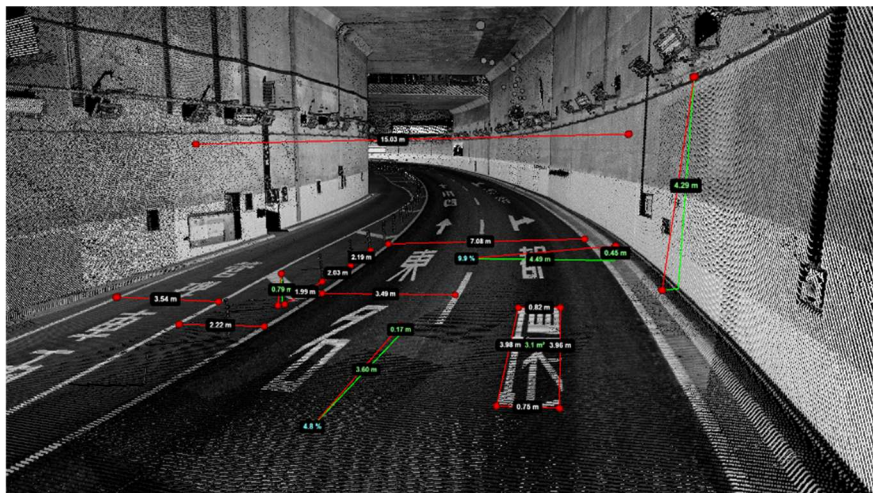
【参考】「産業 DX のためのデジタルインフラ整備事業／デジタルライフラインの先行実装に資する基盤に関する研究開発」における自動運転トラックの走行実証」

<https://www.dynamic-maps.co.jp/case/case-355/>



■ 高精度 3 次元点群データが閲覧可能なサブスクリプションサービス「3Dmapspocket®」

3Dmapspocket®は、上述の高精度 3 次元点群データを使い、道路や周辺構造物などの閲覧・計測が可能なサブスクリプションサービスです。センチメートル単位で空間情報を把握でき、現地に行かずとも Web 上で計測作業が実施できます。現在は交通事故調査やインフラ管理における業務効率化などで活用されており、省人化や効率化の実現、安心・安全な環境づくりに貢献する高精度位置情報プラットフォームとして、様々な用途での利用が可能です。



「3Dmapspocket®」画面イメージ

■ 高精度 3 次元データを応用した除雪支援システム「SRSS」

除雪支援システム「SRSS」は、当社の高精度 3 次元地図データと高精度な位置情報を組み合わせ、除雪作業のガイダンスを行うものです。道路の形状や道路構造物の位置などの情報をはじめ、投雪禁止場所や要注意箇所などのノウハウを専用の地図に落とし込み、タブレット端末上で道路状況を可視化します。これにより除雪作業の効率化が期待されるとともに、作業中の事故リスクを大幅に低減し、安全かつ円滑に作業を進めることができます。



(左)除雪支援システム「SRSS」製品イメージ (右)実際の除雪現場イメージ